

令和3年度の進捗状況等に対する委員意見一覧（ご意見）

No	事業番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	備考
1	1	1-1-①	公園等維持管理 運営事業	いまある自然を、観光目的だけのためにむやみに改変することは、慎重に行うべきだと思います。防災、里山環境保全などの観点から慎重に検討する必要を感じます。	
2	2	1-2-①	里山再生育成事業	指標を参加者とせず、実践者に変えた方がいいのではないのでしょうか。人材育成の観点を含めた事業として発展させるべきだと思います。	
3	3	1-2-②	土地改良事業 (農道整備)	なぜ自然工法は草が繁茂するか理由について深掘りして考える必要があるように感じます。自然は草を生やすことによって、土を流出しないようにさせているのかもしれませんが。草が繁茂しにくい自然工法もあるので、土中環境を悪化させてしまうコンクリートをなるべく使用しない方法での対策を模索していく必要を感じます。	
4	6	1-2-⑤	緑の基本計画の 推進	土地所有者とNPOを取り次ぐ役割を町が担っていただき、連携して自然環境の保全を推進する枠組みを作っていただきたいです。	
5	11	1-3-④	葛川水質調査の 実施	民間委託の水質調査に費用がかかっているという認識です。近隣の大学や市民と連携して、安価で住民参加型の持続可能な調査方法を確立すると良いと思います。	
6	13	1-3-⑥	水資源に関する 教育	水源林の見学に事業内容を変更してほしいです。気候が激甚化している昨今には弊害の方が多いという世論が高まっています。水源林の視察は里山環境保全への啓発にもなり、里山保全のフィールドのある二宮では行動へも移しやすく、効果がより高いと感じます。	
7	14	1-4-①	海岸保全対策事業	養浜だけでなく、砂浜の環境（植物）の改善も事業計画に入れてほしいです。砂浜の植物は砂を定着させることに資するという科学的見地から実行してほしいと思います。	
8	18	1-4-⑤	松の保全事業	薬剤注入は最終手段にいただき、ラディアンで上映した「杜人」の環境再生医 矢野智徳さんの大地再生の考え方や手法で根本的な環境改善を進めてほしいです。	
9	23	2-1-②	マイバッグ・マイボトル等の利用促進	マイボトル普及には、生活導線へのさらなる給水器の設置が必要だと思います。 ※例えばJR東日本とSDGsの枠組みで包括連携協定を結び、二宮駅に給水器を設置したり、賑わい創出で成功しているみらいはらっぱに設置するなど。	

10	24	2-1-③	水分もうひとしぼり運動	最終的には2-2-③（キエーロ普及）につなげていく視点を入れても良いかと思います。
11	31	2-3-②	ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）	ネットだけでは、やはりカラス被害はゼロにはできないと思います。飛散しない仕組みを早急に予算をかけてでも行うべきだと思います。2-4-②にも関係しますが、ゴミの発生源は意外とポイ捨てより、こうした外的要因も多いのではないのでしょうか。
12	37	2-5-①	地元産品の消費促進	こちらの事業はイベントだけでなく、日常の中で消費者が選べるような場所があると良いと思います。 ※百合が丘のわくわく広場のような場所など。
13	38	2-5-②	地元産品の循環型活用の促進	循環の仕組みを作ることができると思います。収穫した野菜を給食（地産地消、有機給食）に提供するなど、今後の展開に期待しています。 大規模な循環だと機械の故障などにより事業の進捗に影響があるかと思っています。
14	39,40	3-1 (2) -① 3-1 (2) -②	地球温暖化防止運動の推進 ムダな電力消費等の節約啓発	マイエコ10宣言はあくまでも宣言でしかないので、一歩踏み込んでパワーシフト（再エネへの電力切り替え）、あるいは断熱や省エネ対策をした世帯数で評価した方が、環境保全に資すると思います。
15	41	3-1 (2) -③	エコカーの導入（電気自動車等導入検討）事業	やらないよりやった方がいいと思いますが、費用対効果でいうとCO2削減の効果は低いと思います。 早目にエコカーにシフトして、基本計画からは除外してもいいのでは。むしろ、シフトしたことを町民にうまくアピールすることの方が大きな波及を生むと思います。
16	45	3-3-①	建築物の緑化の推進	温度上昇を抑制した具体的な効果をデータで知りたいです。
17	47	3-3-③	花いっぱい運動の推進	実際に、いまある自然の保全に資金を回した方が、環境保全に資すると思います。自然と切り離された場所に花を植えても環境改善への好影響はありません。「緑いっぱい運動」などとし、里山の整備にシフトしていくなど、事業自体を見直してほしいです。